

パチンコ遊び方 アプリ診断

NPO法人 対処法アドバイスも



パチンコ・パチスロの遊び方の「安全度」を気軽に診断できる無料アプリ

アプリ「パーラー ジキル&ハイド」では、1カ月の収入や1カ月分の「負けた額」を記入した後、11の質問に答えていく。すべて回答すると、遊び方の安全度が100点満点中の点数で、のめり込み度が100%中の%で、それぞれ「診断」される。

Q (パチンコは) お金を稼ぐには良い手段だと思っている

Q 負けを取り戻そうとして、負けを増やしている

Q 遊ぶ金額の上限を決めてから遊んでいる

Q パチンコするため、またはパチンコで負けた借金を返すためお金を借りたことがある…

昨年12月のカジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）整備推進法の成立で、ギャンブル依存症対策に注目が集まる中、自分のパチンコ・パチスロの遊び方の「安全度」や「のめり込み度」が診断できるアプリの利用者が増えている。パチンコ依存の相談を受ける認定NPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク」（事務局・沖繩）が昨年から無料配信しており、同法人は「自分と向き合うきっかけにしてもらえれば」と話している。

「遊びの範囲を超えている可能性があります」「電話相談を利用してください」など対処法もアドバイスされ、全国の相談窓口の電話番号や住所、利用可能な時間帯などの情報を都道府県別に一覧で表示する。アプリは同法人のホームページからダウンロードでき、昨年10月の配信以降、17日までのダウンロード数は2685件に上るとい

う。厚生労働省の2013年の推計では、国内でパチンコなどのギャンブル依存の疑いがある人は、成人人口の20人に1人（536万人）に上る。道内でも15年度、道立精神保健福祉センター（札幌）にギャンブル依存に関する新規の相談が26件寄せられ、パチンコに関するものが最も多かったという。

依存症かどうかの診断は医療機関でなければできないが、リカバリーサポート・ネットワークの西村直之代表理事は「このアプリを使い、自分の遊び方に問題はないか、のめり込みすぎているか、立ち止まって見直してみたい」と話している。